

徳島での生活 ～人生のチャレンジ～

大学院創成科学研究科 地域創成専攻 2年

楊 茉 (ヨウ モウ) [中国]



留学生
滞在記



徳島大学の友達と一緒に(筆者:左側)

徳島大学へ留学して、一年半が経ちました。徳島に来る前はとても不安を感じていました。新しい生活環境や学生生活に溶け込めるだろうか、クラスメイトと親しくなれるだろうか、と心配していました。しかし、実際に徳島大学の留学生活という新しいページを開いてみたら、不安はどこかに消え、毎日の生活を楽しむことができています。指導してくださる先生やクラスメイトは親切ですし、自転車で大学へ行く途中にたくさん山の山が見え、都会では見ることができないような美しい自然の景色を見ることが出来ます。

これまでの留学生活の中で一番印象に残っているのは、大学院1年生の後期に徳島大学留学生学友会の会長になったことです。私は今まで周りの多くの人に助けられ

てきました。それで、今度は私が留学生をサポートしたいですし、中日友好の架け橋になりたいとも思っています。

大学生のとき、私は卓球をしていて、国全体の健康のためのスポーツ活動にとっても関心を持っていました。中国では2008年の北京オリンピック以後に、「全民健身計画」という、スポーツを通じて国民の健康を増進する計画が始まったからです。今の中国のスポーツ事業はまだ発展途上の段階なので、日本でもっとスポーツに関する専門的な知識を学びたいと考えています。そこで、現在、徳島大学でスポーツに関する研究をしています。近年、新型コロナウイルス感染症の影響で多くのスポーツ活動が停止し、スポーツクラブが閉鎖され、それが地域住民



校舎の窓から見える綺麗な景色

さんのあります。これらの諸問題を解決し、人々の健康のためのスポーツ活動を発展させたいです。そして、より多くの人々がスポーツ活動に安心して参加できるように、学んだ知識を役立てたいと考えています。

徳島大学での留学生活は本当に楽しいですし、先生方やクラスメイトに助けていただいていることに心から感謝しています。そして、中国の両親が留学生活を支えてくれていることにも感謝しています。徳島での留学生活は忘れられない記憶になるでしょう。